

平成31年3月4日

# 保護者・生徒アンケートの結果を受けて

練馬区立光が丘第二中学校  
校長 中山 徹

## 1 アンケートについて

保護者対象アンケートの質問項目は前年度と同じ内容である。質問数は20であった。

全体の96.8%の方々から回答をいただいた。これについては極めて高い回答率であると捉えている。また、保護者からはいくつかの意見（記述欄に記入された意見）もいただいた。本校では集計の利便性からマークシート方式のアンケートとしているが、意見・要望等を汲み取るために記述欄を設けている。

本校は昨年度まで生徒対象のアンケートを実施していなかったが、今年度からこれを実施することにした。質問数は14であり、保護者の質問項目の内容とすべて関連づけたものである。生徒の回答率は97.1%であり、不登校生徒を除くほぼ全員の生徒がアンケートに答えている。

集計結果は、回答の「とてもあてはまる」を4点と「まああてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点として計算し、全体の平均点を1～4点までの間の数字で表している。2.5が平均値となるが、数値が3.0を越えた場合は「概ね肯定的な評価をしていただいた」ととらえている。

今回、保護者対象アンケート、生徒対象アンケートともに、本校の教育活動に対して概ね肯定的な評価が多かったと分析している。ただし、評価値が3.0に満たない項目については本校の取組に課題があると受けとめていきたい。

なお、教職員対象のアンケートは別内容で行った。教職員は「特色ある学校づくり」「学校の教育目標を達成するための基本方針」「指導の重点」等について概ね目標を達成できたと自らの教育活動を評価している。

## 2 分析

### (1) 保護者対象アンケートに関する分析

今年度も概ね好意的な評価をいただいたと考えている。

#### ○問1～問14（生徒・教職員に関すること）について

問1 「あいさつ、身だしなみ、時間を守るなどの生徒の生活態度」、

問2 「学校行事や部活動に取り組む生徒の姿勢」

問3 「生徒の人権意識」

問6 「落ち着いた生活、活気ある学校」

問7 「学力向上」

問9 「いじめ・暴力を許さない雰囲気」

以上の項目については、昨年度の評価値から微減したものの、昨年度同様の高い評価をいただいたと分析している。

問4 「生徒の進んで学習に取り組む姿勢」

問12 「地域や家庭に開かれた学校」

問13 「必要な連絡や情報を家庭に発信」

この3つの項目については、昨年度の値を上回る評価をいただいております、本校の地道な取組を保護者に認めてもらっていると考えます。

保護者の皆様の肯定的な評価を励みに、次年度も取組の充実、生徒への指導・支援の工夫、情報発信等に尽力していきたい。

一方、評価値が3.0を下回った項目が4つある。

**問5 「生徒の体力づくりに励む姿勢」**

**問8 「わかりやすい工夫した授業」**

**問11 「進路選択に向けての取組」**

**問14 「困ったときや迷ったときに相談できる教員や職員の存在」**

これら4つである。昨年度も問5、問8、問14については3.0を下回っており課題となっていた。今年度、改善の努力を重ねてきたつもりではあるが、結果として十分な対応ができなかった部分があったと考える。また、今年度は新たに問11も(2.97という評価値ではあるが)3.0を下回った。

次年度は、授業改善、体力向上、進路指導・キャリア教育、教育相談活動の充実に特に力を入れ、工夫を重ねていく必要がある。特に、次年度特別支援教室が本校に開設されるということもあり、教育相談活動が重要な位置を占めると強く認識している。

なお、問10「健康な心と体づくりの取組」については、評価値が3.04と昨年度と同じ数値であった。

## ○問15～問20（学校公開、学校行事、ボランティア活動、小中一貫教育等に関する事）について

**問15 「学校公開・セーフティ教室・道徳授業地区公開講座への保護者の参加」**

**問16 「保護者の学校ホームページ閲覧」**

この2つについては評価値が、問15 2.23、問16 2.64と、それぞれ残念ながら2点台であり、なおかつ昨年度に比べ微減している。保護者に公開する取組についてはその内容をより充実させていくとともに、工夫あるホームページ作成を図っていく必要がある。

**問17 「運動会」、**

**問20 「合唱コンクール」**

この2つは、ともに評価値が3.5以上であり、極めて高い評価をいただいた。次年度も運動会、合唱コンクールの更なる充実に向けて力を注いでいく。

**問18 「ボランティア活動」**

昨年度より0.1ポイント減となったが、評価値3.21であり高い評価である。次年度も、青少年育成光が丘地区委員会等と連携を強めながら、生徒のボランティア活動への関心を高めていく。

**問19 「小中一貫教育」**

今年度評価値が3.20であった。全校保護者の90%以上の方から肯定的な評価をいただいている。今年度は光が丘春の風小・光が丘第二中の小中一貫教育に関するリーフレットを保護者へ配付することができた。来年度も今年度同様の取り組みを進めていく。

## (2) 生徒対象アンケートに関する分析

結果を大観すると、多くの生徒が学校生活に喜びや充実感を感じながら日々過ごしていることがわかった。しかし、一方で「生徒の視点から見た学校の課題」も浮かびあがってきている。

## ○問 1 ～問 1 1（生徒・教職員に関すること）について

問 1 「あいさつ、身だしなみ、時間を守るなどの生徒の生活態度」

問 2 「学校行事や部活動に取り組む生徒の姿勢」

問 3 「生徒の人権意識」

問 5 「生徒の体力づくりに励む姿勢」

問 6 「落ち着いた生活、活気ある学校」

問 7 「学力向上」

問 8 「わかりやすい工夫した授業」

問 1 0 「健康な心と体づくりの取組」

これらについては、すべて評価値が 3.0 を越えている。特に問 2 は 3.41、問 3 は 3.42 と高い評価である。

問 4 「生徒の進んで学習に取り組む姿勢」

この質問については、保護者の評価値が 3.13 だったのに対し生徒は 2.95 であった。生徒の自己評価はやや低めであった。

問 9 「いじめ・暴力を許さない雰囲気」

この質問については、保護者の評価値が 3.15 だったのに対し生徒は 2.95 であった。

問 1 1 「困ったときや迷ったときに相談できる教員や職員の存在」

この質問については、保護者の評価値は 2.90 であったが生徒は 2.99 となった。

いずれにしても、問 9、問 1 1 の 2 つについては評価値が 3.0 を下回っており、そのことを「生徒の声」として真摯に受けとめる必要がある。いじめ防止、教育相談活動の充実に更に工夫が必要である。各学年の生徒の状況を生活指導部会、特別支援教育校内委員会で確実に把握しながら、きめ細かな指導・支援を進めていく。また、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・スクールソーシャルワーカーとの連携を更に強めていく。

## ○問 1 2 ～問 1 5（学校行事、ボランティア活動、小中一貫教育）について

問 1 2 の「運動会」

問 1 5 の「合唱コンクール」

問 1 2 は評価値 3.59、問 1 5 は評価値が 3.68 と、ともに保護者の評価値を上回っており、生徒の評価は大変高くなっている。生徒が生き生きと取り組む充実した行事になっていると考えている。

問 1 3 「ボランティア活動」

評価値が 3.17 である。生徒のボランティア活動への関心が高いことがうかがえる。次年度も青少年育成光が丘地区委員会等と連携を強めていく。

問 1 4 「小中一貫教育」

評価値は 3.16 である。小中合同の挨拶運動・クリーン運動、生徒会による学校説明会、算数リトルティーチャー交流など、本校生徒が積極的に関わる場面が多く見られた。中学生の自己有用感を高める取組にもなっており、来年度も今年度同様の取り組みを進めてく。

今回、生徒対象のアンケート調査を初めて実施したことに大きな意義があったと考えている。当然、次年度も今年度同様実施する。